



5. 構成員一覧について

氏名	所属部局	職名	専門	学位	役割分担
佐藤 哲司	図書館情報メディア系	教授	データ工学	博士(工学)	代表者
手塚 太郎	同	准教授	情報検索	博士(情報学)	機械学習基盤
関 洋平	同	助教	自然言語処理	博士(情報学)	知識抽出基盤
若林 啓	同	助教	機械学習	博士(情報学)	知識抽出基盤
宝珍 輝尚	京都工繊大・工学系	教授	感性工学	博士(工学)	知識統合基盤
斉藤 和巳	静岡県大・経営情報学部・	教授	数理モデル	博士(工学)	知識抽出基盤

6. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		1302	1304	1303
7. キーワード(5つまで)	データ工学	機械学習	コミュニティ分析		
8. キーワード(英語)	Data Engineering	Machine Learning	Community Analysis		
9. 研究グループHP	URLを記載してください。	<a href="http://ce.slis.tsukuba.ac.jp/">http://ce.slis.tsukuba.ac.jp/</a>			
10.研究グループ概要(1000字程度)					
近年急激に利用が拡大しているツイッターを対象に、個々人の生活を便利・快適にする有益な知識を抽出し、活用する知識共有プラットフォームの核技術を確立する。					
11. 研究グループ概要(英語)					
Recently, microblogs such as twitters are widely used for both information spreading and communications among users. We are trying to develop core technologies based on large amount of tweets for enhancing our real life.					
12. 設置の目的及び必要性					
記事間のネットワーク分析、記事の言語的な特徴解析、テキストが人に与える印象評価などの研究者が一堂に会することで、断片的なマイクロコンテンツを多面的に組織化する分野横断的な取り組みとしているところにある。					
13.研究計画					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツイッター日本語記事 10 億件以上の収集など、知識抽出の対象となるビッグデータの収集、およびライセンスによる取得など、実験環境を整える。</li> <li>・ツイートの発信目的や、発信者のプロフィール分析を進めることで、ビッグデータに内在する知識を抽出する手法を確立する。</li> <li>・リツイートやリプライなどのツイート間の関係性をネットワーク分析することで、抽出できる知識の高度化と精度向上に取り組む。</li> <li>・積極的な学会発表と関連する研究領域の最新動向の調査を進め、研究のビジビリティを向上するとともに、骨太な研究にしていく。</li> </ul>					
14. 研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院生や学群生も含めて研究室全体での取り組みとしていくことで、個々の学生の意識を高めて成長を促す。</li> <li>・オープンラボや学会発表を経験させることで、学生の研究・発表スキルを向上させるとともに、学内外に対して研究の意義を発進していく。</li> </ul>					